



女性研究者・技術者が輝くとき

- ポジティブアクションを考えよう -

日時 2007年6月30日(土) 10:30 ~ 16:30 (10:00 開場)

場所 つくば文化会館アルスホール
(つくば市立中央図書館内)

〔保育施設をご希望の方は、下記のメールアドレスにお問合わせ下さい〕

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2-8 TEL:029-856-4311, FAX:029-856-6277

アクセス:「つくばエクスプレス(TX)・つくば駅A2出口」または「つくばセンター」から徒歩約3分

資料代 一般1000円、学生・大学院生500円

第1部 記念講演 (11:00 ~ 12:30)

浅倉むつ子さん

早稲田大学法科大学院教授 日本学会議会員、ジェンダー法学会理事

「学術の世界における男女共同参画」

第2部 報告 (13:30 ~ 15:10) (プログラムは裏面をご覧ください)

テーマ: 研究の現場における性差別の実態、調査結果、差別をなくす取り組みなど

報告者: ポスドク、任期つき研究員、出産・育児体験者、男女共同参画チーム長など

第3部 討議 (15:20 ~ 16:30)

現在わが国の女性研究者・技術者は、一方では指導的な立場で活躍する場が広がりながら、他方ではポストや研究費獲得に差別を受け、育児・介護など家族的責任の重圧にも苦しめられています。今回のシンポジウムは、日本の労働政策や科学技術政策にも目を向けつつ、このような女性研究者・技術者のおかれている現実と今後の展望を考える場としたいと考えています。これから研究者を目指す若い方から、指導的立場にある研究者まで、性別にかかわらず多くの方がたのご参加をお待ちします。

主催: 第12回女性研究者技術者全国シンポジウム実行委員会

共催: 日本科学者会議、日本国家公務員労働組合連合会、
筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会、全国大学高専教職員組合

協賛: 日本私立大学教職員組合連合、東京地区私立大学教職員組合連合

後援: 平和と民主主義のための研究団体連絡会議
男女共同参画学協会連絡会

連絡先: 日本科学者会議東京支部
〒113-0033 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階
Mail: w-sympo12@jsa.gr.jp
URL: <http://www.geocities.jp/jsajosei>



シンポジウムの趣旨

1975年、日本科学者会議の呼びかけで「第1回婦人研究者問題全国シンポジウム」が大阪で開かれました。このシンポジウム開催は、その翌年から始まった「国連女性の10年」や、国連での「女子差別撤廃条約」採択（1979年）など、女性の地位向上にむけての歴史的、国際的にも大きな意義のある時代の始まりを見通してのものでした。その後、シンポジウムは各地の女性研究者・技術者達の努力によって25年間隔で開かれ、名称は変わりましたが、今年12回目を迎えることができました。

日本の研究者の中で、女性研究者の占める割合は12%弱と、欧米27カ国中最下位です。一方、ポストドクターの中の女性比率は約20%、40歳を越えると比率は約30%と高くなり、女性が安定したポストを得にくいことを示しています。このことは、学術の世界でも男性の採用や昇進が優先されることが多い上、女性はポストの時期と出産・育児の時期が重なり、さらに不利な立場におかれることと無関係ではありません。

政府は、国内外の声におされ、また、少子化などによる研究者不足を補うために、最近になって、「産休・育休からの復帰支援研究奨励金」（学術振興会）「女性研究者支援モデル育成」（文部科学省）「ライフイベント（出産・育児・介護）から研究への復帰支援」（科学技術振興機構）など、女性研究者・技術者の雇用、育成、研究環境などの改善に取り組み始めています。

しかし、それらの恩恵に浴することができる研究者は一部にすぎず、研究資金獲得競争激化などの影響もあって、多くの女性研究者・技術者は、依然としてさまざまな差別的環境の中におかれています。研究者を目指す若い女性たちは、将来の仕事や結婚・出産への不安を抱えています。

また、90年代後半から、パート、派遣、請負など非正規労働者が激増し、「格差」「ワーキングプア」「長時間労働」などが大きな社会問題となっています。このような状況のもとで、男性の研究者も厳しい競争にさらされています。今回のシンポジウムでは、研究者・技術者が、性別に関わらず、人間らしい生活を保ちながら、安定した職を得て、科学・技術の発展に力を発揮するにはどのような運動をおこなっていくべきかを探りたいと考えています。

プログラム

10:30 開会

10:30 11:00 あいさつ、基調報告など

11:00 12:30 記念講演

浅倉むつ子さん 「学術の世界における男女共同参画」

講師の浅倉さんは、政府機関の研究会などで、雇用における男女平等を実現するための提言を数多くおこなって来られました。今回は、科学技術政策の動向、日本学術会議のとりのくみ、JAICOMS（女性科学研究者の環境改善に関する懇談会）の活動、各大学での取組みなどにふれながら、ポジティブアクションについてもお話下します。

13:30 15:10 報告

前田佐和子さん 京都女子大学教授、日本地球惑星科学連合男女共同参画委員会委員長 「ポストク・任期付職研究者の出産・育児体験から学ぶ」

今泉温子さん (独)農業生物資源研究所研究員 「私の研究と出産・子育て」(仮題)

御手洗容子さん (独)物質・材料研究機構 材料ラボ白金族金属研究グループリーダー/人材開発室男女共同参画チーム長 「理系研究所における男女共同参画の取り組み」

全大教女性部 「大学・高専における男女共同参画、その取り組みと進展状況」

有賀早苗さん 北海道大学副理事/大学院農学研究院・生命科学院教授/女性研究者支援室長 「北大女性研究者支援室の取り組み」(仮題)

15:20 16:30 討論

前後に研究所訪問・観光を希望される方へ ・筑波市観光協会 <http://www.kanko-tkb.net>

・つくばサイエンスツアーオフィス <http://www.i-step.org/tour/index.shtml>、・つくばサイエンスツアーバス（土日限定）

<http://www.i-step.org/tour/bustour/index.htm>、・研究機関ガイド一覧 <http://www.kanko-tkb.net/hp/guide/science/index.html>

つくば駅とアルスホールに近い宿泊施設は下記の3つ。

・ホテルグランド東雲 <http://www.hg-shinonome.co.jp/> ・オークラフロンティアホテルつくば（本館またはアネックス）

<http://www.okura-tsukuba.co.jp/> ・ホテル松島 電話029-856-1191 一泊6000円より